

要請番号 (JL02125B31)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|-------|----------|--------------|------|----|------|--|
| カンボジア | H107 助産師 | 20～45 歳のみ | 個別 | 新規 | 2年 | ・ 2026/1 ・ 2026/2 ・ 2026/3 ・ 2027/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

スバイリエン州病院

3) 任地 (スバイリエン州スバイリエン) JICA事務所の所在地 (プノンペン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1959年に設立された州内のトップリファラル病院(CPA3)である。配属科の産婦人科を含む11の診療科を有し、総病床数は約170床、1日平均の外来患者数約100人。産婦人科の病床数は24床、月次分娩数約300人、内約15%程度が帝王切開である。日本の無償資金協力により病院の一部を改修し、2017年から外来、救急科、産婦人科、手術部において新しい病棟での診療を始めた。また2022年5月まで技術協力プロジェクト「母子継続ケア改善プロジェクト」の対象病院となった。当病院には歴代2名の看護師隊員を派遣した実績があるが、助産師隊員の派遣は初となる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国の新生児死亡率は2000年3.5%、2010年2.1%、2020年1.3%と改善しているが、周辺地域と比較すると未だ2倍程度高い。また人口1万人あたりの看護師/助産師は9.5人であり、これは東アジアおよび東南アジア地域の中低所得国平均(看護師/助産師19.0人)と比べて著しく少ない。加えて、首都と地方との格差も大きく、特に地方部における医療従事者の不足や、助産師の経験・訓練不足は大きな課題である。同病院には現在28名の助産師が在籍するが、その知識・技術には大きな個人差がある。助産師全体のレベルを一定の水準に引き上げるために、現場で指導、支援を行うことができる協力隊を求められ本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 衛生環境改善及び助産サービスの向上に寄与する。
 - 患者記録や物品管理など、効率的なオペレーションのシステム作りの支援を行う。
 - 産前産後指導・退院指導・母子看護等につき同僚とともに取り組みながら指導・助言を行う。
 - 助産技術の問題の明確化とマニュアル作成、勉強会の実施を行う。
- 尚、着任後は日本でなくカンボジアにおける助産のスタンダード・国として定められた各種プロトコル・アルゴリズムを理解し、その範疇での知見の共有・選択肢の提示といった側面支援活動を行うことが大前提となる。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

血圧計、聴診器、ドップラー、吸引分娩器、新生児用アンビューマスク、酸素濃縮装置、CTGモニター、成人用心電図モニター(電極なし)、インファントウォーマーなど

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

院長:男性 50代

産婦人科:医師6名(チーフ1名 男性50代)、助産師28名(うち女性25名、リーダー1名 女性40代)

活動対象者:主に上記助産師

5) 活動使用言語

クメール語

6) 生活使用言語

クメール語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（助産師）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）5年以上 備考：経験に基づく支援が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（22～38℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

同産婦人科では、助産だけでなく婦人科の医療サービスについても助産師達が提供する。

【類似職種】